

戦評

昨年彗星のように現れ、ノーシードから覇者となったストライク、安曇野最強世代で構成された AND 2、この 2 強に割って入るべく古豪大町クラブ、大町最強世代 OMK、R&S、エルドラド、新勢力の POCALHOLIC、そして、こっそりベスト 4 入りを目論む大町クラブレジェンド・・・今年も熱い戦いが始まる！！

R&S は大町クラブを撃破するも、続くストライクに惜敗。第 4 シード権をゲットして大会を終えた。

新勢力 POCALHOLIC はエルドラドを撃破するも、続く OMK に一步及ばず。その OMK も AND 2 に 15 点差をつけられ敗退。

決勝戦は昨年と同じ、ストライクと AND 2 の顔合わせとなった。

リベンジに燃える AND 2 は開始早々⑨敦也が 3 ポイントを沈めるも、返す刀でストライク⑮大祐が 3 ポイントを決め返す。

その後も AND 2 ①朋樹、⑥未来が 3 ポイントを決めると、ストライク⑮小林、勇大が同じように 3 ポイントを返し、どちらも一步も引かない展開が続く。AND 2 ⑦柳沢も得意のジャンパーで加点するも、ストライク①今井、⑨孝介、⑧草間の 1 対 1 など、バリエーション豊かな攻撃に翻弄され、15 対 22 で 1 ピリを終える。

2 ピリは AND 2 ⑦柳沢が 12 得点と大暴れすると、ストライク⑧草間も負けじと 10 得点、加えて⑮大祐が 3 ポイントを 2 本沈め、34 対 39、AND 2 が 5 点ビハインドで後半を迎える。

ストライクは 3 名が足をつるアクシデントが発生。これを見逃さず、AND 2 が猛攻を見せる。⑮群馬助っ人が 2 本の 3 ポイント、続いて⑭真田、⑬市川、⑦柳沢も 3 ポイントを沈め、怒濤の 23 得点で、57 対 57、ゲームを振り出しに戻した。

運命の最終ピリオド、AND 2 はここまで影を潜めてきた⑤臼井が要所の 4 得点をすると、体を張って泥臭い仕事に徹していた⑫下條も初得点を上げ、盛り上がりを見せる。

これに対しストライクは交代選手もおらず満身創痍の中、猛攻に耐え、⑤勇大、⑧草間、①今井、⑫名取、⑨孝介の全員得点でこれを押し返す。

最後はファウルゲームを選択し、70 対 74 でストライクの連覇となった。

勝負の分かれ目は「ビブス」。AND 2 はビブスを作って出直してこい（笑）

1 回戦で消えた大町クラブレジェンド、シード権を失った大町クラブ、寄る年波には勝てないのか・・・いや、そんなことはない、ただの怠慢だ！！喝！！ただただ 3 ポイントの威力を知った 1 日だった。

また来年頑張ろう！！

See you next year !!

MVP ストライク⑮小林大祐

優秀賞 AND 2 ⑦柳沢周平、ストライク⑤小林勇大、⑧草間健斗
レジェンド田中久登（鉄人）

来年シード ①ストライク ②AND 2 ③OMK ④R&S